



2019 年度

えんだより

4

社会福祉法人 恵泉福社会
光の子保育園
園長 長島 博樹

主 題 ありのまま

月のねがい

- ☆ さんびか、祈り、聖書のみ言葉を聞くことを通して神さまと出会う。
- ☆ 保育者や友だち、また春の自然とふれあう事を心地よく感じ、安心して過ごす。
- ☆ 保育者は保護者と共に一人ひとりの子どものありのままの姿を受け止める。
- ☆ 保育者は子どもの表情や仕草、つぶやきなどから、思いをくみ取る

おことば

わたしは 世の終わりまで いつもあなたがたとともにいる

(マタイによる福音書 28章20節)

行 事 予 定

4 月

- 01 日(月)～家庭訪問
- 04 日(木) 入園式 9:00～・後援会総会 17:00～
- 05 日(金) ランチデー・チューリップ祭り
- 08 日(月)・09 日(火) 時間外申請受付 (新入園児) 8:30～9:30 16:30～17:30
- 13 日(土) イースター・親子遠足
- 18 日(木) 千葉県科学館 (5歳児のみ)
- 24 日(木) 柏餅作り
- 29 日(月) 祝日(昭和の日)
- 30 日(火) 休日 (国民の休日)

5 月

- 01 日(水) 祝日(天皇即位の日)
- 02 日(木) 休日 (国民の休日)
- 03 日(金) 祝日(憲法記念日)
- 04 日(土) 祝日(みどりの日)
- 05 日(日) 祝日(子どもの日)
- 06 日(月) 振替休日
- 11 日(土) モンテ実験(5歳児) 8:30～ 4・5月誕生会

Climb every mountain

ご入園、ご進級おめでとうございます。

新元号「令和」と発表され、美しく穏やかな社会の幕開けと同時に、人々がお互いに和み合い和を大切にという意味合いがあると聞き、社会の発展はいくら AI・IT が発達して便利になっても、人と人との繋がり無くしてはできない事を改めて確信する思いが致しました。最近では 24 時間開いていたコンビニも正常な営業を考え、時間を区切る試みがなされ、サービス過剰を見直す方向にあります。運送業も同様です。

2018 年度の卒園生を今年も送り出し、その保護者の方から次のようなお手紙を頂きました。

今日が我が家にとっても、Kにとっても光の子が本当に最後。未だに来週から光の子に行かない事が信じられない。まだまだたくさん伝えたいことはあるのに、うまく言葉が見つかりません。光の子のおかげで、今の私達家族の形がある。どんな事でもやる前に諦めず、まずは挑戦し、その中で試行錯誤しベストな方法を見つけ出すこと。一緒に体験・時間を過ごし、共に喜び、共に学び、共に発見する共有体験の大切さ。そして何より父も母も H も K もそれぞれに信頼する仲間・同士・友達・パパ友・ママ友・頼れる先生方、たくさんの人に出会えたこと。何よりの宝物です♡

この先、いろんなことで人生立ち止まることがあるはず。そんな時には光の子を思い出し、先生方に会いに行き、たくさんパワーと笑顔を分けてもらい、また前に一歩ずつ進めたら幸せだなあとと思います。

本当に×2 お世話になりました。ありがとうございます♡

光の子 大好き♡ また いつか♡

PS : いつか家族や光の子で共に育ったお友達家族と一緒に、軽井沢恵みシャレーに泊り子ども達がキャンプで体験したことを、今度は子ども達の案内で(先生役になり)、私たち親にキャンプ体験をさせてもらいたいというのが私の夢です♡ A・S

様々な価値観はご家庭によっても異なります。「保育園は便利に使える所でしょ」「親の時間を確保する為に預けているのに」「仕事を邪魔されたくない」「布おむつが嫌」という人もいれば「布おむつが良くて」という人もいます。他園から転園してこられた方は、「建物は古いけれど良く隅々まで掃除されていて綺麗でありがたい」という方もいれば「新年度準備なんてする必要がない」という方もいます。お昼寝させたくない人がいれば、させたいという人もいます。外遊びさせたい人もいればさせたくない人、いっぱい遊ばせたいけど怪我はさせたくない、「慣らし保育なんて必要ない」という方もいますが、突然死は入園後 1, 2 か月が集中するから慣らしは必要という見方があり、夫々に考え方が違って当たり前ですが、この考え方や価値観の異なる人が和むためには何が必要なのかを子ども達と過ごしていると見えてくるように思います。

子どもの喧嘩が始まると、陰でこそこそお友達の邪魔を試みます。仲間外れにしてみたり、直接言えず先生に言いつけに来たり、知恵が発達するほどいろいろな方法で喧嘩が続きます。しかし、先生達は一方的な話を聞くことなく、直接 2 人を向かい合わせどちら

が正しいかという事ではなく、2人の気持ちに寄り添い聞いています。事の善悪だけで言う「それはあなたが悪い」と裁いてしまいそうなことであっても、「〇〇ちゃん是这样子で思っていたんだね」と相手に気持ちを伝える、または気持ちを整理して言葉に出来るように時間をかけてじっくり向かい合うのです。この時間は、個々によって違います。長い子は、1時間言葉に出来なかつたり頑固に口をつぐんでしまう子もいます。先生達はその間じっくり待ち、自分の思いに向かい合わせ、素直に言葉にする行為を大切に待つのです。時には保護者がお迎えに来られても、『今この時が大切』という理解を頂いて待ってもらう事も時にはありますが、その間しっかりと子どもに向かい合ってくれています。卑屈な弱さを育みたくないからです。

この幼児期の体験が、大人になって、考え方の違う人達と共に生活し仕事をする中で、意思を共有し前に進むコツになって行くのだと、つくづく幼児期の重要性を感じるのです。

光の子はこのような価値観を持った園です。人によっては「ここはいいけど、ここはいや」というところがある事でしょう。だからこそ理念の違う保育園が沢山あり、今は選べる時代になりました。

未満児を年2回も遠足に連れていく園は他には在りません。先生方手作りで誕生日カードやプレゼントを作る事も少ないと思います。今では『新年度、子ども達が心新たに進級の喜びと期待を持てる環境づくりを』という準備をするところも少ないと聞きます。0・1・2歳児で20名近くのクラスにおいてクッキング体験を年5回ほどする園も少ないでしょう。未満児の泥水遊びは、シャワーや着替えが大変なので、頻繁にするところも少ないでしょう。

先生達は、一年間どんなに幼くてもその季節、その時にしか味わうことのできない本物の体験をさせてあげたいと、どんなに幼くてもワクワク・ドキドキした目の輝きが子ども達の成長意欲・学びながら生きる力に繋がると信じている為、夜遅くまで研究してくれています。

実は年度末に、誕生日カードの手作りをやめて違う形で記念に残るものにしたらいかがかと、主任が先生達に提案しました。これは、子どもの人数も増え通常の保育業務に加え、書類の増加、行事の充実に伴う増加、遠足等のための毎年土日での下見、バスや当地の行政との連絡、ボランティアの方々との連携、駐車場の調整等の業務増加、そこに加えて、今まで同様、誕生月に20名ほどの手作りプレゼント、カード、模擬等々。過去、保育士の仕事を他園でされているお母様方が何名も居ましたが、「私達にはしてあげたくてもできない保育だけれど、自分の子にはこのような保育で育てたい」とおっしゃられて卒園されていきました。園長としてはありがたい言葉と受け取りつつ、子ども達の活動経験は充実させたいけれど、先生達の仕事を少しでも軽減できないかとずっと模索してきたのです。

先生達で数日話し合い、結論を出して欲しいとお願いしました。もし形式を変えるなら、他園同様カタログに乗っている誕生日カードを購入するなどの手配が必要だからです。しかし、数日後「手作りをやらせてほしい」という先生達からの答えが返ってきました。「毎年、素材を研究し20数名分作るのは大変だけれど、卒園しても大切に取っておいてくださる保護者の方々の声や、目を輝かせ全員の先生達のメッセージを読む子ども達の顔を思うとやめたくない」と涙を流して言うのです。このような先生達の熱い『育ての心』を受けて、園長として、このような強い信頼のおける先生達と新年度を迎えられることを神さまに感謝しました。

年度末、最終日を目前に控えた年長児たちが「秋にやったことのあるテントでお昼寝を

もう一度やりたい」と言っていると聞き、年度末で片付けの忙しい中、「難しいかな」と言うと、担任の先生達は「やってあげたい」と朝からテントを張ってお昼寝を実施しました。

これは、ただ昼寝をテントですということではなく、このメンバーで寝られる最後のお昼寝の思い出という意味を含んでいます。夕方テントの片付けをしていた先生方の姿を見て、しみじみ「やって良かった」と実感しました。

園便りやクラス便りで、子どもたちへの思いをお伝えさせていただいたつもりでしたが、数名の方に新年度準備の主旨がなかなか伝わりにくく誤解を生み、ご理解を頂ける説明が出来なかったことをお詫び申し上げます。光の子は児童憲章の子どもたちの幸福を図る為、定められた児童の権利宣言の「良い環境の中で育てられる」を大切に、他園のような保護者に向けたサービス向上ではなく、お仕事が忙しい中であっても、子どもの成長、心の安定を目指すことは光の子の理念と考えています。保育園で育っても、充実した子どもの学びや経験を図るサービスは保護者の方々の信頼・理解と先生方の熱い「育ての心」が絆で結ばれなければできません。人と人が和を育む心はこれからも子ども達に伝え共に歩んでいきたいと思ひます。

光の子は、夕方いつでも担任が帰りに直接話せるよう残っておりますし、家庭訪問にも行きます。担任に言えなければ主任・園長でも構いません。疑問や個々が違う思いや不信感がありましたら直接お話しし、どんな方法があるか一緒に考えていく関係を築けたら幸いです。

新しい先生、お友達、新しい出会いを、今年も子ども達の力強い成長の糧となるよう、保護者の皆様と共に力を合わせて、高い山も低い山も登って行きたいと思ひます。

Climb every mountain !!

テントの中 あったかいよ～
おしゃべりしてたと思ったら・・・
いつの間に・・・最後のお昼寝タイム



卒園生のお兄さん・お姉さん達が来てくれました。



新年度がスタートしました！
泥水遊びも スタ～～ト～ !!

